

令和7年度 坂城町公民館事業スタート!

令和7年度の公民館事業がスタートしました。分館役員のみなさん、本館専門部のみなさんを紹介します。

分館役員のみなさん

(敬称略)

分館	分館長	副分館長	文化部長	体育部長	広報部長
鼠宿	南波 拓美	上原 哲夫	斎藤 実	片桐 公一	丸山 辰行
新地	沢崎 茂実	細川 勝好	山本 朗	沢崎 修一	菊田 甫之
金井	宮下 和久	塩入 郁夫	長尾 邦彦	田中 昌樹	池田 敦
入横尾	宮下 和幸	鈴木 邦彦	柳澤 秀幸	山崎 直人	成沢 博文
町横尾	宮下 隆雄	中村 宏幸	館内 盛幸	中沢 裕樹	新井 隆史
泉	和田 芳樹	松坂 夕子	足立ノンカーン	中澤 弘治	嶋田 育代
中之条	保坂 義昭	丸山 浩司 中島 一弥	町田 圭	町田 公平	滝澤 克彦
四ツ屋	甘利 靖之	岸田 幸一	丸山 秀司	林 隆行	林 隆行
戌久保	矢嶋 誠	辰野 淳子	-	小奈 勝利	都筑 寛之
御所沢	滝沢 幸映	塩野入良夫	林 美子	竹内 英樹	大橋あつ子
田町	大塚 雅彦	小林 秀樹	近藤 佳子	今井 幹矩	中島 悠
横町	木下 幸一	宮下 秀陣 清水 肇	石山 美香	桐間 聡	杓掛 一雄
込山	高見澤 洋	神方 昌志	岩浅 和仁	片桐 和也	中沢 則彦
立町	常盤 信彰	前山 康彦 高橋 政輝	宮尾 政規	前山 一隆	畑山哲次郎
旭ヶ丘	荒井 明	北澤 圭介	鳥居 勝三	深井 洋幸	村松 修
南日名	宮原 建男	深井志津男 金子 保典	笠井 良典	春日 敦	笠井 良典
北日名	中沢 忠和	西澤 喜幸 池田 弘文	大屋 学	柳澤 勇雄	小松原勝寿
日名沢	伊藤 利幸	瀧澤 重章	柳沢 和也	田中 賢二	西澤 豊子
大宮	池田 利幸	小宮山正憲	吉崎 博明	布施 五郎	池田 文夫
新町	千野 純一	中澤 弘幸	中井 英光	池田 浩希	中井 英光
坂端	高橋 憲彦	高橋 伴幸	高橋 貴	高橋 祐次	竹中 譲
苅屋原	水出 恒明	千野 修	酒井 美佳	水出 健雄	小出 真司
網掛	高井 資昌	塩野入繁人 宮入 真道	沢崎 泰弘	神田 純一	元島 武文
上五明	北沢 一憲	鈴木 久男 山城 忠則	竹内みゆき	山城 洋平	塚田 洋介
上平	小出 和博	菅原 美佳	小出 裕子	中曾根真由美	大橋 正浩
小網	宮沢 正博	赤池 邦浩	高松 尚武	本道 怜	宮沢 忠臣
月見	星 哲夫	福島 益男	山田友里子	柄澤 英俊	宮下 裕一

本館専門部員のみなさん

専門部は、町公民館の事業をそれぞれ分担して企画立案し、公民館運営の要として活動します。

総務部

町公民館事業全体を検討し、推進します。

部長 高井 資昌 (網掛)
副部長 池田 利幸 (大宮)
宮下 隆雄 (町横尾)
大塚 雅彦 (田町)

文化部

文化事業を企画し、運営します。

部長 竹内みゆき (上五明)
副部長 長尾 邦彦 (金井)
岩浅 和仁 (込山)
鳥居 勝三 (旭ヶ丘)

体育部

健康増進のため体育事業を企画し、運営します。

部長 柳澤 勇雄 (北日名)
副部長 小奈 勝利 (戌久保)
町田 公平 (中之条)
本道 怜 (小網)

広報部

公民館報を編集し、発行します。

部長 宮下 裕一 (月見)
副部長 竹中 譲 (坂端)
丸山 辰行 (鼠宿)
林 隆行 (四ツ屋)

第29回更埴地区

短詩型文学表彰式

更埴地区公民館運営協議会(千曲市と坂城町で構成)主催の、第29回更埴地区短詩型文学祭表彰式が開催され、短歌の部、俳句の部、川柳の部、現代詩の部の各賞が決定し、表彰式が行われました。

投稿数合計3,054作品のうち、坂城町の方の更埴地区短詩型文学祭大賞、更埴公民館運営協議会長賞、奨励賞の受賞作品を紹介します。(敬称略)



一般の部

「川柳の部」

◆更埴公民館運営協議会長賞

笑い皺重ねて歩む人生符

小宮山 洋子

「現代詩の部」

◆更埴地区短詩型文学祭大賞

風

小宮山 洋子

過去の風が私の肩でささやいた

君は心配性だね

どんな事があつたとしても、過去の事は全て終った事だから考えたって仕方ないんだよ

逝ってしまった人を追い掛けたって戻っては来ないんだよ

でもね、想い出だけはしっかりと抱いて前へ前へと進んで行くんだよ

子供に言い含めるように言った

未来の風が私に振り返って言った

その通りだよ、空の雲を見てごらん

憂いなどみんな脱ぎ捨てたから

ゆーらりゆーらりと浮いていられるのだからね

先の事など誰にも判らないからあれこれ悩んだって仕方ないのさ

現在が一番大事な時だと自覚したのだからね

うね

真っ白で楽しそうな雲を見上げていたら未来の風は消えてしまった

◆更埴公民館運営協議会長賞

朝に

上原 みち子

眠りと目覚めのあわいで

カラスが鳴いている

それもやけに近くで

うっすら目を開けて見ると隣の家の屋根の上で叫んでいる

いつものあの電柱のてっぺんではないのかカラスよ

おまえは知っているのか

不吉な鳥だと呼ばれていることを

魚を焼く匂いが流れてくる

粕に漬けた魚の匂いだ

どこの家だろう

こんな早い時間からもう朝ご飯の用意か

私も起きて魚を焼こうか

野菜の味噌汁

よく漬かったためか漬けの茄子に刻んだみょうが

それだけで十分な朝になる

ゆうべ救急車が大きな音で通り過ぎた

と思ったとたん止まった

我が家のはす向かいのお宅の前であの家の人とはどんな一夜を過ごしたのだろうか

今までより少しだけ

涼しく思える朝に

日常と胸のざわつきが入り混じる

「短歌の部」

◆佳作

塩野入 はる江

小宮山 洋子

西澤 ひろ子

◆入選

井澤 貞子

横田 徳子

柳沢 澄

◆入選

竹内 文

小野 久美子

◆入選

小西 正枝

「川柳の部」

◆入選

中島 てる代

中島 のぼる

◆入選

石関 みち子

松澤 瑞枝

◆入選

松澤 瑞枝

◆入選

松澤 瑞枝

◆入選

松澤 瑞枝

小学生の部

「俳句の部」

◆奨励賞

夕立に追われて走る帰り道

坂城小6年 古畑 ひかり

◆入選

村上小4年 内川 友之

「川柳の部」

◆奨励賞

夏前海すてきな色だ海がすき

◆佳作

坂城小5年 小奈 夏恋

坂城小5年 成澤 岳

坂城小5年 宮下 舞子

◆入選

村上小6年 宮澤 柚樹

坂城小4年 潤賀 栞里

坂城小5年 春日 陽向

南条小4年 山極 星和

◆入選

南条小4年 竹内 優心

◆入選

南条小4年 竹内 優心

◆入選

坂城中2年 浦川 想一郎

◆佳作

坂城中2年 浦川 想一郎

短歌の部

―選者―

松林のり子

日詰百合子

米澤 光人

俳句の部

青木く美子

大井さち子

本山 流水

川柳の部

近藤 魁風

青山 鉄夫

小宮山正雄

現代詩の部

柳澤 澄

平野 光子

(敬称略)